第2次三和町まちづくり基本構想 全体概要(目次)

第1章 構想の基本的な考え方(P1)

- 1. 構想策定の趣旨:時代状況の変化を踏まえ、新たな指針となる第2次構想を策定
- 2. 構想の期間: 令和6年度(2024)~令和15年度(2033)の10カ年
- 3. 構想の位置づけ:市の「里山の暮らしを支える地域づくり方針と整合性を図る
- 4. 構想の構成:基本理念、重点戦略、重点施策の3層構造



第2章 三和町を取り巻く現状(P3)

第1節 三和町の現状(P3)

- 1. 地勢:山あいの地形、一次産業中心、道路網や光ファイバー整備
- 2. 人口推計:現状(2023 年)2,649 人が何もしなければ25 年後(2048)には1,135 人に半減
- 3. 前構想の総括:活動の道しるべとしての役割を果たす

第2節 三和町の強み・弱みの抽出(P5)

作業部会、アンケート(三和小中学生、集落支援員、一般)、三和中学1年生のワークショップから強み・弱みを抽出

- →住環境、学校、人・つながり、農林業、交通、歴史・文化、その他区分で強みを整理
- →住環境、人・人間関係、少子高齢化、交通、買物、その他の区分で弱みを整理

第3節 三和町の課題(P9)

強みから「人」、「学校」、「環境」を重点戦略として設定

強みを生かしつつ、弱みを克服すべき課題分野を以下のとおり整理

- 重点戦略 1:人 (1)「つながり」
 - (2)「農林業」
 - (3)「人間関係」
 - (4)「防災」
 - (5)「移住」

重点戦略 2: 学校 (1) 「通学」

(2)「学校の拠点化」

重点戦略 3:学校 (1)「住環境」

- (2)「交通の便」
- (3)「買い物」
- (4)「拠点」

第3章 三和町の目指す姿とその実現のための施策(P11)

基本理念 50年後も残る三和町!

重点戦略1 三和町の素晴らしい人を活かす(P13)

- (1) 人のつながりの再構築 施策1 各地区のお祭りを残していく
- (2) かっこいい農林業ができる場所としてPRする 施策2 先進的な技術のPR 施策3 木材資源の有効活用
- (3) 最適な人間関係を目指して 施策4 新しい近所づきあいの模索
- (4) つながりを活かした防災 施策5 地域外との絆を強化 施策6 防災訓練のイベント化
- (5) 様々な移住を受け入れる 施策7 移住を受け入れるという地域住民の意識の醸成

重点戦略2 三和町の素晴らしい学校を活かす(P15)

- (1) 通学の利便性 施策8 小中学校通学バスの維持 施策9 高校進学後の送迎体制の確立
- (2) 学校を拠点とした新しい取組みによるにぎわいづくり 施策10 三和町大同窓会(三和町版ホームカミングデー※)の開催
- (3) 様々な移住を受け入れる【再掲】 施策7 移住を受け入れるという地域住民の意識の醸成【再掲】

重点戦略3 三和町の素晴らしい環境を活かす(P17)

- (1) 快適な住環境を目指す
 - 施策11 空き家や高齢者のみの家の活用
 - 施策12 実家もしくは実家周辺に住んでもらう「ふるさと回帰」の推奨
 - 施策13 光通信が整っていることをPR
- (2) 交通の便の良さをPR 施策14 ライドシェアの活用 施策15 大きな道路があることをもっとPR
- (3) 次世代の買い物を活用 施策16 ネット通販による買い物等が容易であることをPR 施策17 無人コンビニの導入 施策18 ふれあい市場のコンビニ化
- (4) 地域の拠点をつくる 施策19 道の駅等、地域の拠点となるような、人が集まるところを作る 施策20 有効な情報を収集し発信するワンストップで済むような組織

第4章 構想の推進体制と進行管理(P19)

第1節 構想の推進体制と各主体の役割(P19):地区内外住民、関係機関、協議会等

第2節 構想の進行管理(P20): PDCAサイクル

おわりに(P21)